

大洋リアルエステート株式会社

送信者: "三原崇功"
宛先: "大洋リアルエステート株式会社"
送信日時: 2011年7月6日 23:35
件名: RE: 2011年7月6日付貴信に対する回答と別件質問事項の件

ご連絡いただきましてありがとうございます。
貴社より要請のあった事項については改めて事実関係を確認した上で速やかに回答させていただきます。

なお、誤解があるようですので数点について釈明させていただきます。

「多数の有力大手からどんどん連絡が入って困っている。一体このビルをいくら位なら売れるのか見積もりを各業者より徴収したいので大洋さんのご承諾をお願いします。」この発言は事実です。ただし、同発言は同日の調停で仮に売却するとなればいくらかになるのか破産管財人の方で調べてはどうか、それが今後の解決策を検討する1つの材料になるのではないかという調停委員会の指示を受けてのものであって、調停以前に私が売却を具体的に検討したり購入希望者を募ったことは一切ありません（大手も含む多数の不動産関連会社や国内外のファンドから多数の問合せがあり、その都度「売却を考えられる状況にない。」と一律に同じ回答をしています。）。また、調停委員会の指示を受けて試みるとはいえ、依然として売却の前提条件が満たされていないことは重々承知していますので、現時点でも「相場を知る。」という以上の意図はもっていません。

なお、私は自らの信念もあってこれまで会話の隠し撮りなどしたことはありませんし、今後もするつもりはありません。

次に、私の破産管財人としての姿勢についてですが、見上氏を擁護したり三菱地所に利益を与えるつもりはありません。このことはいずれご理解いただけるものと確信しています。

東京都千代田区日比谷公園1番3号
市政会館地階（日比谷公会堂）
弁護士 三原崇功
電話03-5251-4141
FAX 03-5251-4151